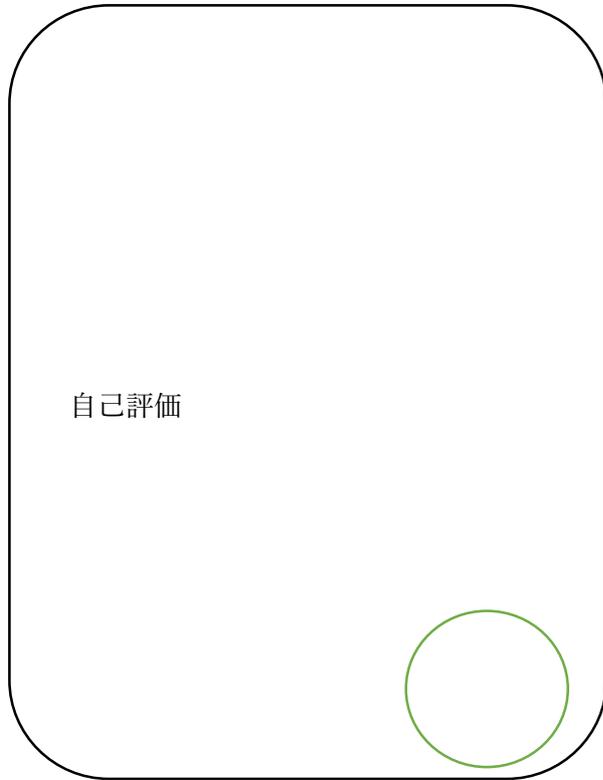
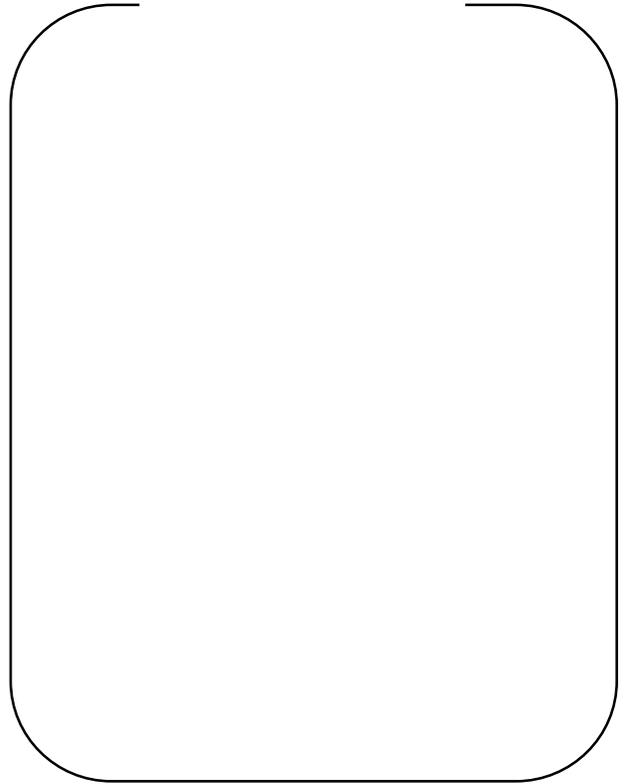


① 今日の目標

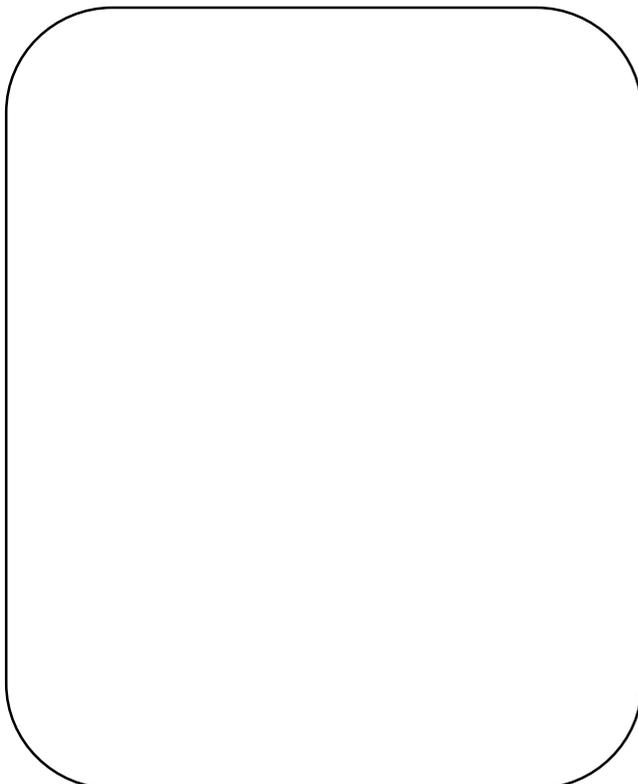
自己評価



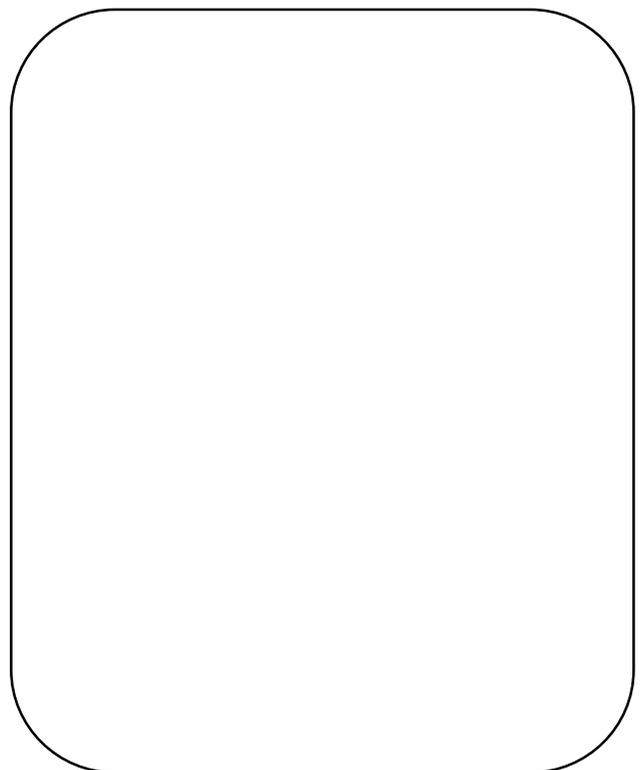
② 今日のインパクト



③ ②の理由



④ 今日の学び



# プロセスレコード

年 月 日 (実習 日目の記録) 学籍番号 学生氏名

診断名 \_\_\_\_\_ 患者: \_\_\_\_\_ 氏 才 男・女  
 【状況・目的】なぜこの場面を選んだのか?その時の自分の気がかりは何か、何を明らかにしたいのかを具体的に明記しましょう。

患者が言ったり行ったりした事	私が考えたり感じたりした事	私が言ったり行ったりした事	分 析

【全体を通しての考察】

【検討を終えて見えてきた自己の課題 — 自己の強みと弱みの両視点から見つめてみよう】

静岡市立清水看護専門学校 基礎看護学実習 I 評価表

「看護の対象者との関わりを通し、自己の傾向を知り、看護におけるコミュニケーションについて体験的に学ぶ」

学籍番号 ( ) 氏名 ( )

学習活動	具体的な評価規準	観点	評価資料	評価基準		
				すばらしい	よい	歩努力を要する
対象とコミュニケーションをとり、その場면을客観的に見つめる。	患者とのコミュニケーションを振り返り、自己の傾向を知る。	対象理解	プロセスレコード カンファレンスの発言	関わりから気になる場面をわかりやすく挙げられ、助言も活かし、自己の傾向に気づき、表現している。 3 0	関わりから気になる場面を挙げられ、自己の傾向を表現している。 2 5	振り返りの内容はコミュニケーション技法に留まっている。 1 0
看護に必要なコミュニケーションについて考え、表現する。	患者の思いを知るために必要なコミュニケーションを考える。	探求心	実習記録 I カンファレンスの発言 レポート	患者と看護師の関わり、自己と患者との関わりから、看護におけるコミュニケーションについての考えを具体的に表現している。3 0	患者と看護師の関わり、自己と患者との関わりから、自己の考えを表現している。 2 0	関わり場面、自己の考えをそれぞれに表現している。 1 0
グループ内で協力しあう。	グループメンバーと協力して実習に臨んでいる。	調整力 実践力	実習関係者、グループメンバーとのやりとりの状況 cf、GW 運営	グループの一員としてお互いに助言をしあい、リーダーやメンバーとしての役割ができています。1 0	グループの一員として他のメンバーと協力し、実習できている。 8	他者より求められグループメンバーへの意見や役割ができています。5
看護者としての倫理的規範を持ち、行動する。	情報管理を適切に行っている。	倫理観	情報管理の状況 報告連絡相談の状況	個人情報の保護のため、記録の取り扱い、会話の場所など情報漏洩しない行動ができています。1 0	情報の取り扱いに不備があることに気づき、すぐに対処行動ができていた。 8	情報の取り扱いについて適切でない状況があった。周囲への影響を考慮することができない。 1
	実習にふさわしい行動をしている。	倫理観	身だしなみ・態度・言葉遣い	身だしなみ・態度・言葉遣いは他者に安心や信頼感が伝わるものである。 5	身だしなみ・態度・言葉遣いについて他者から助言・指導を受け、その意味に気づくことができた。 3	適切な身だしなみ・態度・言葉遣いについて他者から助言・指導を受けたが行動を変えることができていない。 1
	学び続ける姿勢が見られている。	倫理観 探求心	実習記録 I 記録の提出状況	わからないことは自ら調べたり、アドバイスをもらったりし、積極的に実習できている。 5	アドバイスを受けたことに対して、調べる・相談する行動ができています。 3	わからないことをそのままにしている。 決められた記録を提出していない1
	医療従事者として、医療チームや患者への影響を考え健康管理に努めている。	倫理観 調整力	健康状態 報告連絡相談の状況	自分の体調に応じた感染予防行動が取れた。 自分の体調管理を十分に行え、実習に影響がなかった。 1 0	体調管理についてとるべき行動について指導を受けそれに従っている。 7	体調管理に影響する約束事を守っていない。 1

欠課時間  
( )時間/90 時間

	学生	指導者
中間評価		
総合評価		

実習指導者サイン

担当教員サイン

一日の実習計画表

月 \_\_\_\_\_ 日 ( ) 実習 ( ) 日目

本日の実習目標	
実習計画	行動計画の詳細や援助計画
8:30	
9:00	
10:00	
11:00	
12:00	
13:00	
14:00	
15:00	

クリティカルシンキング

(看護問題の解決と看護計画を立案するまでの過程 (因果関係を整理するための用紙))

患者に対する気がかりな事象: 今日の実習で得られた情報から、気がかりなことを具体的に記述 (なぜ気がかりになったかの理由も詳細に記述する。)



原因分析: 気がかりな事象はなぜ起こっているのか・原因や反応の意味を知識や理論を使って明らかにする。



成り行き・予測できる問題

患者の現象の因果関係・日常生活援助の実施内容の根拠などを整理し、患者のねがう生活を実現するために、どのようなつながりがあるのか、日々ふくらめていく。

目標：対象理解に必要な情報を理解し、看護的な気づきから対象理解を深め、対象の望ましい姿に近づくための援助を考え、日々の実践との関連を見出す。

	学習活動	評価規準	観点	評価資料	評価基準		
					すばらしい	よい	努力を要する
1	指導者と共に日常生活援助を実施する。	自ら考えた方法や指導者の考えている方法を共有しながら、日常生活援助を一緒に実施している。	調整力 実践力	指導者との対話の様子 実習記録Ⅰ	自分の考えた方法を指導者と共有し、助言をもらい、その理由を考えたうえで、実施している。 援助計画を具体的に立てている。 20	なぜその援助を必要としているか自分の考えに基づいて計画し、看護師と援助を実施している。 15	日常生活援助の根拠が曖昧である。 援助計画の内容がいつまでも具体的にならない。 5
2	様々な手段を用いて情報収集を行う。	患者に関わった事象から、自己の気がかりをもとに患者の情報を複数集め、また日々更新されている。	対象理解 実践力	実習記録Ⅰ(事象の説明内容)	情報は、対話・カルテ・指導者・フィジカルイグザミネーションを用いて複数かつタイムリーであり、日々更新される情報に着目している。 事象の説明は時間・人物・様子などが明確にで、誰にもわかりやすい表現である。 20	情報は、対話・フィジカルアセスメント・観察によって収集している。 事象の説明が明確でない。 15	多くはカルテからの情報を集めている。 情報が不足し、事象の説明が不十分である。 10
3	論理的(クリティカル)に思考する。	情報の因果関係の説明を、知識や理論の活用をもとに明らかにしている。	探求心	実習記録Ⅰ(原因分析の説明内容) 実習記録Ⅱ 面接 ミーティングの議題提示と発言内容	気がかりな事象の説明は、情報どうしの因果関係をテキストや資料を活用し説明し、理解した情報や分析を繋いだり、新たな推測に発展させている。 25	気がかりな事象の説明は、情報どうしの因果関係を、テキストや資料を活用し説明している。 20	問題が生活や人生に与える影響や問題が解決されないときの予測が主観的である。 根拠のない憶測が多い。 5
4	患者に行われている日常生活援助の根拠を説明する。	対象の望ましい姿をふまえた患者理解が進む中で、日々行われている日常生活援助の根拠が理解できる。	対象理解 探求心	実習記録Ⅰ・Ⅱ 最終日カンファレンスの発表内容	日々の情報やクリティカルな思考が蓄積されている。対象の望ましい姿や看護問題が挙がり、日々実施した援助との関連を実践したエピソードと関連させて説明している。 15	対象の望ましい姿や看護問題が挙がり、日々実施した援助との関連を説明している。 10	日常生活援助の根拠があいまいである。 3
5	看護師として倫理的規範を持ち行動する。	知り得た情報の管理ができる。	倫理観	記録用紙・メモの管理 実習中・実習後の行動	受け取った個人情報適切に管理し、プライバシーを守っている。 10		知り得た個人情報が、適切に管理できない。 0
		信頼構築のための行動が取れる。	倫理観	時間管理、体調管理、言葉遣い、身だしなみ 実習準備状況	時間(管理)・体調・言葉遣い・身だしなみが毎日整えられた。 事前準備を整えて臨めた。 5	時間(管理)・体調・言葉遣い・身だしなみを整えようとしていた。 3	時間・体調・言葉遣い・身だしなみを整えようとしていたが、他者からは受け入れられなかった。 0
		患者が安心や希望を持てる関係を築こうとしている。	倫理観 調整力	患者とのかかわり 面接	表情・言葉・声のトーン・ふるまいなどの眼差しや行動が、患者に効果的に作用している。 5	表情・言葉・声のトーン・ふるまいなどの眼差しや行動を工夫している。 3	表情・言葉・声のトーン・ふるまいなどの眼差しや行動が、患者に受け入れられなかった。 0

※学生評価は、各評価項目の該当する評価基準の欄と、総合点に黒のボールペンで日付・点数を記入し、提出する。(中間と最終で行う)

欠課時間：	時間
中間評価：学生	/教員
最終評価：学生	/教員

実習指導者サイン( )

担当教員サイン ( )

一日の実習計画表

月 \_\_\_\_\_ 日 ( ) 実習 ( ) 日目

本日の実習目標 (看護問題を解決に導くことを考えて、本日はどうなってもらいたいと考え、どのようなケアを実施するのかを考える。)	
実習計画 8:30 9:00  10:00  11:00  12:00  13:00  14:00  15:00	行動計画の詳細や援助計画 (観察・ケア・説明計画を立てる。) (援助計画の根拠をテキストで調べ、患者の理解を深めながら記入する。)

リフレクションシート

(ケアの実施を通して自分自身に対する振り返りを行う用紙)

援助実施を終え、自己の体験から疑問や気がかりになっていることを中心に具体的に説明する。



自己の体験を省察し、評価する。(ケア実践を具体的に振り返ることで、最終的には新たな看護実践や自分自身の行動や傾向の気づきを明確にしていく。)

③ 評価



② 批判的分析



① 状況

④ 自己への気づき

⑤ 気づきの統合



目標：自己の看護実践を省察し、他者からの意見をふまえ、よりよい看護を追求し、看護者として自己を高める。

	学習活動	評価規準	観点	評価資料	評価基準		
					すばらしい	よい	努力を要する
1	指導者と共に日常生活援助を実施する。	日常生活援助を実施するために根拠を考え計画し、指導者と共有しながら、援助と一緒に実施している。	調整力 実践力	指導者との対話の様子 実習記録Ⅰ（援助計画）	病棟の看護問題をもとに、解決のための援助計画を具体的、知識を活用しながら立て、看護師と実践を繰り返している。 20	なぜその援助を必要としている知識の活用は十分ではないが、自分の考えに基づいて計画し、看護師と援助を実施している。 15	日常生活援助の計画に知識の活用はない。 指導者と一緒に実践することが難しい。 5
2	自己の看護実践を表記する。	実践後は疑問や気がかりをきっかけに、手順を踏み、自己と対象の双方について体験場面を描写している。	実践力 探求心	実習記録Ⅰ（リフレクションシート） 面接 ミーティング・最終カンファレンスの発表内容	実習で体験した具体的な状況を、患者・看護師・自己の言動、自己の感情やその変化など、誰にもわかるように記述し、ミーティングで発表している。 15	実習で体験した状況を描写しているが、疑問や看護の気がかりでないことが多い。 10	状況が部分的で状況が分かりにくい。 5
3	実習の実践体験をリフレクティブに振り返る。	実習中の気がかりな出来事について批判的分析の視点で思考する。	探求心	実習記録Ⅰ（リフレクションシート） 実習記録Ⅱ 面接 ミーティング・最終カンファレンスの発表内容	振り返りの視点に、知識を使い、その時の感情を考え、問題の究明を行い、代替え案を出している。 倫理原則に沿って自分の行いを深く振り返っている。 他者の振り返りにも積極的な意見を出せた。 30	振り返りの視点に、知識を使い、その時の感情を考え、問題の究明を行い、代替え案を出している。 20	振り返りの視点に、知識を使い、その時の感情を考え、問題の究明を行い、代替え案のいずれかのみ振り返っている。 他者の振り返りで意見が少ない。 カンファレンスに一度も提示できない。 5
4	実践を評価する。	振りかえりの結果、新たな看護実践や自分自身の行動・傾向への気づきが明確になっている。	対象理解 探求心	実習記録Ⅰ（リフレクションシート） 実習記録Ⅱ ミーティング・最終日カンファレンスの発表内容	看護実践をよりよくするための修正ができたり、自分自身への気づきや改善に向けた具体的策が述べられ、自覚的である。 15	看護実践をよりよくするための修正のみできている。 10	内発的な修正や自己への気づきがない。 3
5	医療者として、看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動をとる。	看護の対象や仲間の尊厳、安全を護り、医療者として誠実に行動する。	倫理観	日常の行動 実習の様子 課題等提出物 出席状況 面接	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る必要性を理解し、適切な行動を取っている。 20	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動を心がけている。至らない時は学び、行動を変えている。 15	自分の行動が看護の対象や仲間を危険に曝している 0

※学生評価は、各評価項目の該当する評価基準の欄と、総合点に黒のボールペンで日付・点数を記入し、提出する。（中間と最終で行う）

欠課時間：	時間
中間評価：学生	/教員
最終評価：学生	/教員

実習指導者サイン( )

担当教員サイン ( )